

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

埼玉県 ふじみ野市

自治体名：埼玉県ふじみ野市

担当課名：市民活動推進部 文化・スポーツ振興課

電話番号：049-220-2090

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	14.64 km ²
人口	114,476 人
公立中学校数	6 校
公立中学校生徒数	2,937 人
部活動数	65 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	未設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

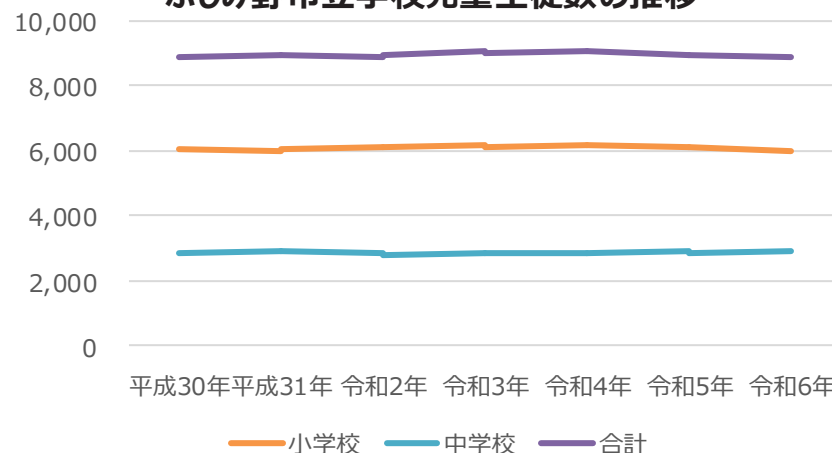
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市には6校の公立中学校があり、2,937人の生徒が在籍し、運動部65部、文化部21部が活動している。部活動は生徒の協調性や責任感を育む重要な機会だが、少子化により部員不足により、活動の継続が難しくなっている部活動があるのも現状である。

また、生徒が中学校・高校で部活動をやめる傾向が強く、競技継続率の低下が地域のスポーツ衰退につながっている。これを改善するため、本市では合同活動を導入し、他校との交流や地域の指導者との連携を通じて、競技スキルの向上と継続の支援を進めている。

こうした状況を踏まえ、本市では、競技スキルの向上とスポーツを楽しむ環境を提供し、生涯スポーツの環境づくりを推進していく必要がある。そのための方策の一つとして、学校の枠を超えた合同部活動を導入し、他校の生徒と交流しながら練習を行う機会を設けることで、少人数でも競技を継続しやすい環境を整える。また、地域のスポーツ関係者と連携し、専門的な指導を受けられる場を提供することで、生徒の競技力向上を図るとともに、卒業後も地域でスポーツを続けられる仕組みを構築していく。

ふじみ野市立学校児童生徒数の推移

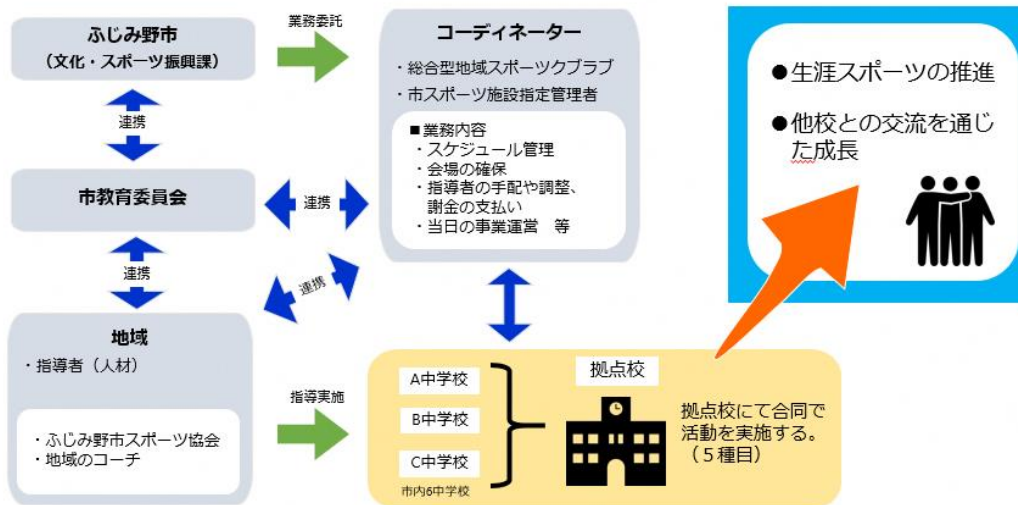


平成30年度から令和6年度まで、児童生徒数に増減は少ないが、将来的には人口が減少に転じると想定される。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎首長部局

（文化・スポーツ振興課）

本事業の主管。コーディネーターへ事業運営を業務委託し、市教育委員会や関係機関と調整しながら進めていく。

◎教育委員会

（学校教育課）

各学校との調整を行う。

年間の事業スケジュール

令和6年4月	市からコーディネーターに事業を委託
令和6年5月	市内中学校長、事業実施種目顧問、指導者、コーディネーターで全体打合せ
令和6年6月	コーディネーターから各中学校長に事業の実施方法等を説明する。 保護者あてに事業についての文書を配布し、同意書の提出を求める。
令和6年7月	事業開始 ※原則として、各種目が月に1回活動する。 ※市、コーディネーター、スポーツ協会は月1回の定例会を設け、情報共有や現状の把握に関する話し合いを継続的に実施する。
令和6年12月	事業実施種目の顧問にアンケート調査の実施
令和7年3月	コーディネーターが市に事業報告書の提出

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	6 校	実施した地域クラブ総数	6 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		6クラブ（6 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		なし
全体の指導者数	19 人	全体の運営スタッフ数	2 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
陸上クラブ	コーディネーター（民間事業者）	陸上（新）	月 1 回（原則土曜日）	日中	211 人	令和6年7月～令和7年3月	花の木中学校	5 人	1人（サッカークラブと兼務）	受益者負担なし	中体連：部活動
サッカークラブ	コーディネーター（民間事業者）	サッカー（新）	月 1 回（原則土曜日）	日中	160 人	令和6年7月～令和7年3月	葦原中学校	4 人	1人（陸上クラブと兼務）	受益者負担なし	中体連：部活動
剣道クラブ	コーディネーター（総合型地域スポーツクラブ）	剣道（新）	月 1 回（原則土曜日）	日中	245 人	令和6年7月～令和7年3月	福岡中学校	5 人	1人（野球・男女バスケットボールクラブと兼務）	受益者負担なし	中体連：部活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
野球クラブ	コーディネーター (総合型地域スポーツクラブ)	野球 (新)	月 1 回 (原則土曜日)	日中	229 人	令和6年7月～令和7年3月	大井中学校	1 人	1人 (剣道・男女バスケットボールクラブと兼務)	受益者負担なし	中体連：部活動
男子バスケットボールクラブ	コーディネーター (総合型地域スポーツクラブ)	男子バスケットボール (新)	月 1 回 (原則土曜日)	日中	236 人	令和6年7月～令和7年3月	大井東中学校他1校 (2拠点)	2 人	1 人 (剣道・野球・女子バスケットボールクラブと兼務)	受益者負担なし	中体連：部活動
女子バスケットボールクラブ	コーディネーター (総合型地域スポーツクラブ)	女子バスケットボール (新)	月 1 回 (原則土曜日)	日中	413人	令和6年7月～令和7年3月	大井西中学校他1校 (2拠点)	2 人	1人 (剣道・野球・男子バスケットボールクラブと兼務)	受益者負担なし	中体連：部活動

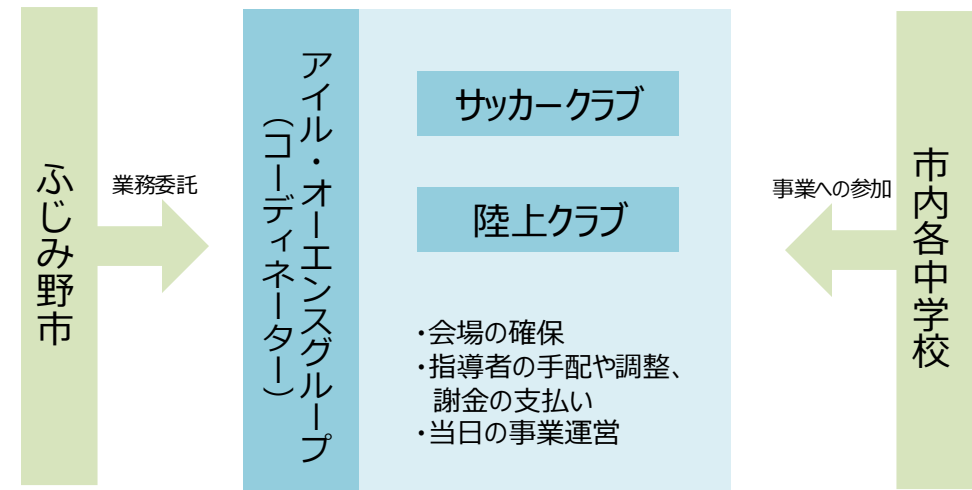
2.実証内容と成果

主な取組例

● サッカークラブ・陸上クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー、陸上
運営団体名	コーディネーター (ふじみ野市スポーツ施設指定管理者 アイル・オーエンスグループ)
期間と日数	7月～3月 (原則月1回)
指導者の主な属性	サッカー：三上卓哉、市サッカー協会 陸上：スポーツ施設指定管理者職員等
活動場所	サッカー：葦原中学校（活動拠点校） 陸上：花の木中学校
主な移動手段	自転車、徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	受益者負担なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 1人あたり：1,850円/年 (指導者保険料)

● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



● コーディネーターの役割

1. 会場の確保
2. 指導者の手配や調整
指導者への謝金は、コーディネーターが直接支払う
3. 各学校（顧問）との調整
4. 当日の運営
生徒の出欠確認やケガ・トラブル等発生した場合には対応をする

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- コーディネーター2名を配置し、関係機関との連絡調整を行った。
- 学校長・顧問・指導者が事業の目的を共有し、意思の統一を図った。
- 持続可能な運営を目指し、事業計画、費用、人材確保などの組織体制を整備した。
- コスト、安全性、継続性を含む事業の検証を行った。

取組の成果

コーディネーターは、事業の成功に不可欠な調整役として、関係各所と緊密に連携しながら事業を進めている。参加校の顧問と密に連絡を取り、実施日や内容に関する意見を収集・調整し、それらを事業に反映することで、円滑な進行と協力体制の構築が実現されている。

また、事業実施に向けて指導者との調整や参加者の募集を行い、当日は生徒の出欠確認や会場準備を担当している。さらに、万が一のケガやトラブルにも迅速に対応し、安全で安心な環境を提供することで、事業が滞りなく実施できている。

こうした取り組みの結果、関係者間の連携が強化され、事業の円滑な運営が可能となった。生徒にとっては、充実した活動の場が提供され、競技スキルの向上やスポーツを楽しむ環境づくりが促進されている。

コーディネーターの具体的な動きの実績

コーディネーター2名

- (1)総合型地域スポーツクラブ：一般社団法人ふじみ野ふあいぶるクラブ
担当：4クラブ（剣道、野球、男女バスケットボール）
- (2)ふじみ野市スポーツ施設指定管理者：アイル・オーエンスグループ
担当：2クラブ（陸上、野球）

今後の課題と対応方針

○事業について、学校側の理解は徐々に進んでいるものの、参加意欲には学校ごとに差がある。教育委員会と協力し、校長や顧問、指導者が事業の目的を共有し、良い成果を目指していく。

○コーディネーターは、各中学校の行事予定や他の部活の施設使用状況を考慮し、多くの学校が参加できる日程を調整しながら、指導者の手配や会場確保を行う業務も難航している状況がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

指導者の選定においては、まずスポーツ協会や総合型地域スポーツクラブからの人選を基本とし、次に市スポーツ施設の指定管理者からの人選を行う方針としている。基本的に、「**地域のスポーツ関係者**」とする。

資格有無

指導者の資格の有無については、特に要件とはしていない。

取組の成果

元プロスポーツ選手や各分野で活躍する指導者による質の高い指導が行われており、参加した生徒の満足度は高い。実際に、生徒からは「専門的な指導が受けられて成長を実感できた」「普段の部活動では学べない技術を習得できた」といった声が寄せられている。

また、事業開始から約半年が経過し、明らかにレベルアップしている種目も見られる。このような変化は、生徒のモチベーションの向上にもつながっている。

種 目	主 な 指 導 者
陸上	市スポーツ施設指定管理者職員
サッカー	三上 卓哉（元Jリーガー・指定管理者職員） 市サッカー協会
軟式野球	星野おさむ（元プロ野球選手・旧県立福岡高校出身）
剣道	市剣道連盟
バスケットボール	市バスケットボール協会

今後の課題と対応方針

指導者の質と人数を確保した上で、実施回数や種目の拡充を図る必要がある。しかし、指導者の確保には限りがあり、今後実施回数を増やすとすべてのニーズに応えることは難しくなる。そのため、地域のスポーツ関係者や教育機関と連携を強化し、指導者の育成や確保の仕組みを整えることが必要となる。また、参加者のニーズを考慮した柔軟なプログラム編成についても検討していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

○アンケート結果から「現在の部活動でのスキル向上を希望する」という声が多く寄せられたことを受け、元プロスポーツ選手などを起用して練習の質を向上させる取り組みを行った。

○各種目で事前に活動カリキュラムを作成し、目的を明確にしたうえで事業を進めた。

活動の詳細

種 目	実施回数	延べ参加人数 (R6.7月～R7.1月)
陸上	6回	160 人
サッカー	7回	211 人
剣道	6回	245 人
野球	6回	229 人
男子バスケットボール	12回	236 人
女子バスケットボール	14回	413 人



サッカーボールを使った
トレーニング（陸上）



参加者全員とハイタッチ
(男子バスケットボール)

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



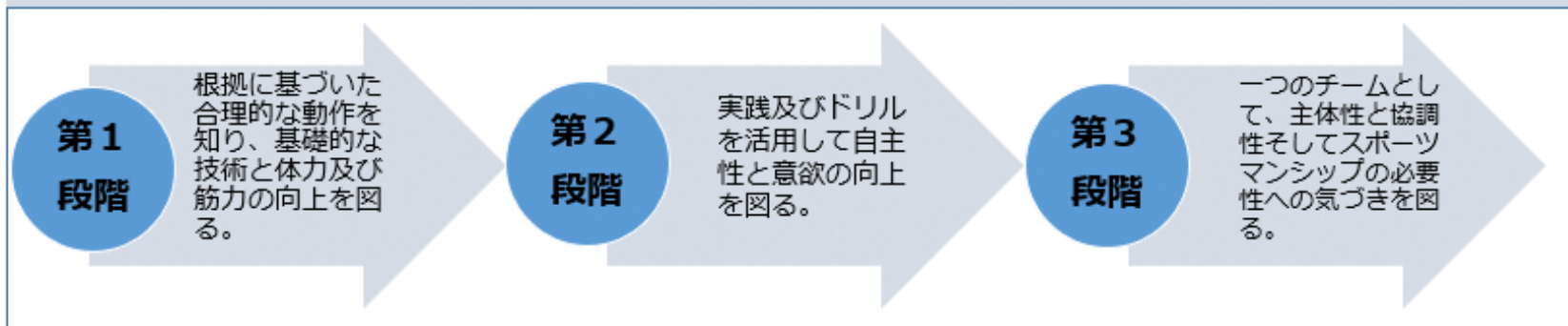
取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

事業カリキュラム例（軟式野球）

目標：幅広い視点で野球の楽しさを見出し、次のステージに繋がるスキルと主体性を育む



支援項目	第1段階	第2段階	第3段階
挫折させない	目的を明確にして、当事者意識を持たせる「意識改善」	個々の成功・失敗体験から自身の存在を考える「自己肯定感」	チームの成功（失敗）体験から仲間存在を考える「連帯感」
キャッチボール	合理的なやり方の習得「捕るから始まる」への意識改革	基本動作を送球・投球に繋げる	正しく・速く・強く・遠くへ何度でも投げられる理論の定義
ベースランニング	ベースランニングの基礎ドリル	離塁・帰塁・スライディング練習	状況判断と打球判断
バッティング	素振りの方法と目的	タイミングと始動の重要性	打者タイプ別による練習法の講習
座学	怪我と障害、予防と防止について	セオリーと準備について	環境の振返りと将来を考える

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実③

生徒からの声

- ・普段の部活動とは異なる練習ができ、成長を実感している。
また、ここで教わったメニューを部活動にも取り入れている。
- ・いつもとは違うトレーニングを体験でき、とても楽しい。
- ・専門的なコーチと部活動の顧問が同じアドバイスをしてくれることで、「このポイントが本当に大切なのだ」と実感し、より意識して練習に取り組めるようになった。

顧問からの声

- ・自分の専門ではない種目のため、専門的な指導者に教わる機会があるのは非常にありがたい。
- ・元プロスポーツ選手と関わることができる貴重な機会であり、今後も継続して事業を進めてほしい。

取組の成果

普段の部活動では行わないトレーニングメニューも本活動では取り入れている。生徒は、初めて行うメニューに始めは苦戦していたが、仲間と協力することで徐々に上達していく様子が見られた。また、合同活動の中でのミニゲームは、楽しみながら技術やチームワークを高めるとともに、交流を深めるきっかけとなっている。

今後の課題と対応方針

顧問の中には「自校の指導は自分で行いたい」と考える方も多く、参加に消極的な学校があるのが現状である。一方で、専門的な指導を受けられることを歓迎し、積極的に参加・活用している学校もあり、学校ごとの意識に差が見られる。

また、コーディネーターは、各中学校の行事予定や他の部活動の施設使用状況を考慮し、多くの学校が参加できる日程を調整しながら、指導者の手配や会場確保を行う必要がある。そのため、業務の負担が大きく、調整が難航するケースもある。

来年度以降は、コーディネーターや各学校の負担軽減の観点から、事業開始前に年間スケジュールを作成し、各学校に共有することで計画的な参加を促すなど、より参加しやすい体制づくりを進めていく。また、学校との連携を強化し、参加意欲の向上を図るための情報提供や意見交換の機会を増やすことで、より多くの学校が積極的に参加できる環境を整えていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

運営に必要なコスト（講師料、コーディネーター人件費等）をどのように賄うかについて、収益構造の検証を行った。また、その適正性についても検証し、事業の継続性や運営上の課題を明確にすることを目的とした。さらに、同様の取り組みを行っている他自治体の事例も参考にしながら、持続可能な運営モデルの構築に向けた検討を進めた。

取組の成果

コーディネーターに係る費用（人件費）や事業運営に必要な費用の詳細な把握ができ、今後の財源確保に向けた基礎的なデータを得ることができた。今年度は「受益者負担なし」として事業を進めたが、継続的な運営の観点から、今後は受益者負担の在り方についても検討する必要性を認識した。特に、どの範囲まで公費で賄うのか、またどの程度の負担が参加者にとって適正なのかを慎重に議論することが求められる。

収支バランス

支出の内訳	金額 (1種目1回の実施)
コーディネーター人件費	13,000円
講師料	15,000円
諸経費	2,000円

※令和6年度については、受益者負担を設けず、すべて公費により実施した。

今後の課題と対応方針

○これまでの部活動と同様に、すべての生徒が平等に活動へ参加できる機会を確保することを前提としながら、引き続き受益者負担の在り方について慎重に検討していく必要がある。特に、経済的な事情によって参加が制限されないよう、適正な料金設定や支援制度の導入についても議論を進める。

○また、人件費や講師料、その他の事業運営に係る費用が非常に大きな負担となることが明らかになったため、持続可能な運営体制を構築することが重要な課題となる。今後は、関係者との協議を重ねながら、補助金の活用や企業・地域団体との連携による支援の可能性も探り、安定した財源の確保に向けた取り組みを進めていく。併せて、他自治体の事例を参考にしながら、より効果的な資金運営の方法を検討し、長期的に継続できる仕組みを構築していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- 種目ごとに拠点校を設定し、学校のグラウンド・体育館を使用した。また、学校設備についても利用できるよう対応した。
- 学校施設が使用できない場合は、市スポーツ施設を使用した。

取組の成果

種目	拠点校
陸上	花の木中学校
サッカー	葦原中学校
剣道	福岡中学校
野球	大井中学校
男子バスケットボール	大井東中学校 他1校 (2拠点)
女子バスケットボール	大井西中学校 他1校 (2拠点)

○会場は、市内6中学校にそれぞれ1種目ずつ割り当て、活動拠点校を設定し、原則として拠点校で活動を行う。

○拠点校で活動ができない場合は、市スポーツ施設を使用する。

○バスケットボールのみ部員数が多く1拠点での活動ができないので、2拠点に分かれて行う。



ふじみ野市立スポーツセンター
多目的グラウンド

今後の課題と対応方針

学校からは、拠点校の負担に関する懸念の声が挙がっている。他の部活動との調整や備品の貸出しなど、種目によって負担の差が生じている状況である。このため、学校の負担を軽減しながら活動拠点校を効率的に活用できるよう、関係者と協議を進めていく。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

本事業は、生徒が専門的な指導を受ける機会を提供し、競技スキルの向上やスポーツへの意欲向上を目的として実施された。事業開始から一定の期間が経過し、指導体制の整備や運営方法の検討を進めながら、各種目において着実な成果を上げてきた。生徒からは、「普段の部活動では学べない技術を習得できた」「専門的な指導を受けることで、自分の課題が明確になった」といった声が寄せられ、実施の意義が大きく認識されている。

また、市内合同での活動を通じて、生徒同士のコミュニケーション能力の向上や競技への向上心が見られるようになった。他校の生徒との交流により、新たな刺激を受ける機会が増え、互いに切磋琢磨しながら成長できる環境が整いつつある。

さらに、本事業に対するスポーツ関係者の理解も深まり、今後の発展に向けた基盤が築かれつつある。顧問や指導者の間でも、専門的な指導の必要性や合同活動の効果が共有されつつあり、より多くの生徒が質の高い指導を受けられる体制の構築が期待される。

●成果の評価

事業を通じて、元プロスポーツ選手や専門的な指導者による質の高い指導が実現し、生徒の満足度は高いものとなった。生徒からは「普段の部活動では学べないことを経験できた」「技術が向上し、試合での自信につながった」といった声が寄せられており、実施の意義が確認された。また、顧問からも「専門的な指導を受けられるのはありがたい」「生徒の成長を実感している」といった評価が得られた。

一方で、拠点校やコーディネーターの負担、指導者確保の課題、運営費用の持続性といった問題も浮き上がり、今後の事業継続に向けた改善が求められる。

●今後に向けて

今後は、より多くの生徒が継続的に参加しやすい環境を整えるため、事業スケジュールの事前共有や学校との連携強化を図る。また、拠点校の負担軽減策を検討し、円滑な運営を支援していく必要がある。

さらに、事業の持続可能性を確保するため、受益者負担の在り方についても引き続き検討する。関係者との協議を重ねながら、指導者の確保や財源の安定化を図り、より充実した指導環境を提供できるよう努めていく。今後も事業の発展に向けた取り組みを継続し、生徒の競技力向上とスポーツの楽しさを実感できる場の提供を目指していく。

2.実証内容と成果②

広報資料

○指導者が、練習内容と次回の練習メニューのチラシを作成した。
これにより、参加者は練習内容を具体的にイメージし、意欲を持って取り組むことができた。また、参加者の増加につながった。

2024.12.07(土)

メイン指導 白井
みんなで応援し合いながら
追い込んでいる姿がとても
素晴らしいと思います。
雰囲気も良かったです。

メイン指導 江森
股関節の動きを作った後に
全身運動を入れ身体の運動を作りました。
駅伝はとても素晴らしいです！
頑張る姿に感動しました。

ウォーミングアップ
サッカーボールを使用し
全身運動を行いました。
身体は繋がっているよ！
と身体の運動を意識して
行いました。

基本練習
よく聞く
【重心の真下接地】
ってどこだろう？
プレーキがかからず足が運べる
位置を自分で探す。
その感覚を活かして流しを
行いました。

メイン練習
ミニ駅伝
700mのコースを1人3本
走り罫を繋ぎました。

【前回の活動内容（陸上）】

種目別練習 長距離部門

練習メニュー

	内容	効果
①	スピードダートトレーニング ・3〜4種目実施	足を速く動かす・フットワーク強化
②	ファルトレク 20〜30分（グループ分け） ・1周750m（遅200m/速550m） 175〜180BPMリズムに合わせて	ランニングエコノミーの強化 ・リズムに合わせて楽しく走る ・リズムを取りながら走ることで真下接地、 接地時間を短くする意識を持たせる
③	1200m×1 ・1000mより長い距離を走ることで乳酸 性作業閾値を超えたい距離を目指す	VQ2MAX強化

※ ファルトレクは花の木グラウンドと校舎の裏側を使用した特設コース
※ 1200mはファルトレク終了10分後300mのグラウンドで実施

タイムスケジュール

0分	ファルトレクチーム分けのためのタイム記入
10分	スピードダートトレーニング開始
30分	スピードダートトレーニング終了・休憩
40分	ファルトレク開始
70分	ファルトレク終了・休憩
80分	1200m開始
85分	1200m終了・クールダウン開始
100分	長時間 種目別練習終了

【次回の練習メニュー（陸上・長距離部門）】

短距離メニュー

ウォーミングアップ

- ダイナミックストレッチ
- スポーツリズムトレーニング
- 神経系トレーニング

基本動作

- アライメントの確認
- 股関節ドリル
- 基本ドリル

ミニハードル走

- 接地位置、乗り込み動作
遊脚の回収などを意識

他校の生徒とペアになりお互いフィードバックをし合い
考える力、コミュニケーション能力の向上も目的とする。

流し

掴んだ感覚を大切に気持ち良く。
ピッチや腕振りなど色々試してみましょう。

障害物リレー

- 様々な道具を使い身体を動かしながら
心肺機能向上も目的とする
- 他校生徒とチームを組みコミュニケーションを図り
走る事の楽しさを感じてもらう

クールダウン

- 柔軟運動のフォームを
確認しながら

【次回の練習メニュー（陸上・短距離部門）】

2.実証内容と成果③

参考資料（活動写真）



【陸上活動の様子】



【サッカー活動の様子】



【野球活動の様子】



【剣道活動の様子】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

アンケートの結果から実施可能な種目を選び事業としたが、週末の新種目体験への参加者が少なく、既存部活動のスキル向上を希望する意見が多かったため、令和6年度から「スキルアップ型」の事業を展開した。

市内中学校長、事業実施種目の各顧問の先生、指導者、コーディネーターで全体の打ち合わせを行った。
それぞれの種目ごとにグループに分かれ、活動拠点校の校長先生と一緒に打ち合わせを行い、全体的な事業の流れや当日の事業運営、生徒への出欠確認手段などを確認した。

令和6年7月から本格的に、5種目6クラブ活動の事業を開始した。

令和5年

種目体験型
「スポーツ活動地域支援事業」の実施

令和6年

市からコーディネーターへ業務委託

市・学校・顧問・指導者・コーディネーター
全体打合せ

学校・保護者への説明

スキルアップ型
「スポーツ活動地域支援事業」の開始

関係者へのヒアリング

令和6年

市からコーディネーター2名に事業運営の業務委託をした。

コーディネーターから各中学校長に、事業の実施方等を改めて説明し事業への協力体制を築いた。また、事業開始にあたり保護者への通知文書を配布し、保護者から事業参加についての同意書の提出を求めた。

1年間を通じた結果と次年度以降の事業運営について、関係者から意見を聞いた。
指導体制や実施内容に対する評価、改善点、今後の課題など、さまざまな視点から意見が寄せられた。今後は、協議内容を踏まえながら、より多くの参加者が充実した活動を継続できるよう、事業の改善と発展を図っていく。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和5年度より地域移行に関する取組みを開始

令和6年度

令和7年度

令和8年度以降

休日部活動の段階的移行

コーディネーターによる事業運営

陸上・サッカー・剣道・野球・男女バスケットボールにおける地域クラブ活動を実施

実施するクラブの
種目数拡大

参加者・学校現場からのニーズの把握

活動場所の検討

収益構造の検討

指導者の確保

事業運営マニュアルの作成

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

埼玉県 白岡市

自治体名：埼玉県白岡市

担当課名：教育指導課

電話番号：0480-31-8842

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	24.88 km ²
人口	52,403 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	1,243 人
部活動数	50 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	白岡市地域クラブ活動運営協議会【設置済】
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	白岡市 部活動指導のガイドライン（中学校部活動・地域クラブ活動）【策定済】

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

① 委託先団体（受け皿について）

令和3年度の実証開始から毎年委託先団体が変わっているため、実証で見えた課題を解決できずに次の委託先団体へと変わり、なかなか課題を解決できずにきている。一定期間の間、同じ委託先団体で実施し、課題の解決を図っていく。

② 指導者について

現在指導者数41名（市内在住の指導者14名、兼職兼業教職員22名、運営団体等5名）で、小・中学校の教職員による兼職兼業を認めている。兼職・兼業教員と地域指導者があった場合、どちらを優先するのか。また、指導者の評価システムや研修制度をどのように構築するべきか等が課題となっている。

③ 活動時間及び活動日数について

中学校部活動と地域クラブ活動を統合した白岡市独自の部活動ガイドラインを策定している。地域クラブ活動が休日（土・日・祝日）行われることで、教職員の負担が軽減され、平日の教科指導も充実している。地域クラブ活動の活動回数は月3回で1日の活動時間は1日3時間以内となっており、休日に行う練習試合や大会参加をどのように行っていくかが課題となっている。

④ 施設・用具の管理について

活動時に破損等が発生した場合に、修繕や新たな補充等の対応について調整が困難となることが懸念され、合同での活動の実施にあたっては、場所の確保や施設の管理、責任の所在等において調整が必要となる。

⑤ 受益者負担について

地域クラブ活動では、最終的には公費や補助金に頼らない地域クラブ活動の運営が望ましい。しかし、その分、保護者負担額は大きくなり、種目数の増減や参加人数によって、その都度金額を見直す必要も出てくる。

少子化に伴い、
部活動が成り立たない



- チームとしての練習ができない
- 単独で大会に出られない

教員の大きな負担



- 休日に部活動を指導する顧問の負担
- 未経験の種目を指導する負担

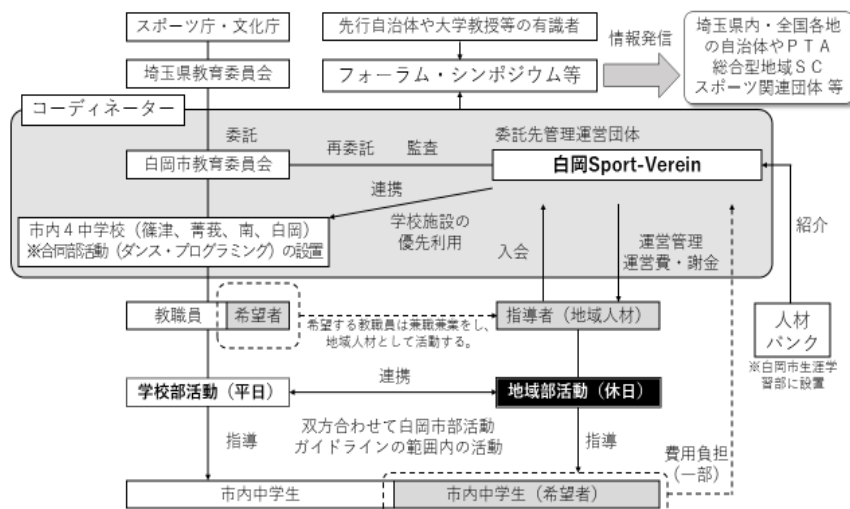
生徒や保護者の要望



- 学校にやりたい部活がない
- 顧問によっては、専門性を有しない教員が担当している

年間の事業スケジュール

令和6年	4月	新入生保護者説明会
令和6年	5月	第1回地域クラブ活動運営協議会
令和6年	6月	第2回地域クラブ活動運営協議会
令和6年	7月	第3回地域クラブ活動運営協議会
令和6年	8月	第4回地域クラブ活動運営協議会
令和6年	9月	第5回地域クラブ活動運営協議会
令和6年	10月	保護者説明会
令和6年	11月	全ての中学校での地域移行 第6回地域クラブ活動運営協議会
令和7年	1月	保護者の受益者負担導入 第7回地域クラブ活動運営協議会 中学校入学説明会に伴う地域クラブ 活動保護者説明
令和7年	2月	第8回地域クラブ活動運営協議会



◎教育委員会（教育指導課）

- ・委託先管理運営団体に再委託し、正しく運営管理（運営費・謝金等）がされているかを監査する。
- ・地域クラブ活動コーディネーターを委嘱し、市内４中学校と委託先との連携及び地域の団体との連絡調整について、スムーズに進められるよう監督していく。

◎教育委員会（生涯学習課）

- ・ ペアーズバンク（人材バンク）の管理・運営及び、市スポーツ団体との連絡調整、学校施設有効利用の今後の方向性の検討を行う。
- ・ 教育指導課と情報を共有し、連携しながら進めていく。

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	4 校	実施した地域クラブ総数	34 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		34 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1 クラブ
全体の指導者数	36 人	全体の運営スタッフ数	5 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
軟式野球 （篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	軟式野球	月4回	3時間以内	1年：5人 2年：6人	通年	篠津中 （校庭）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連： 部活動 その他： 地域クラブ
軟式野球 （南中）	総合型地域スポーツクラブ	軟式野球	月4回	3時間以内	1年：5人 2年：8人	通年	南中 （校庭）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連： 部活動 その他： 地域クラブ
軟式野球 （白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	軟式野球	月4回	3時間以内	1年：5人 2年：8人	通年	白岡中 （校庭）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連： 部活動 その他： 地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
サッカー （篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	サッカー	月4回	3時間以内	1年：5人 2年：6人	通年	篠津中 （校庭）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
サッカー （南中）	総合型地域スポーツクラブ	サッカー	月4回	3時間以内	1年：5人 2年：6人	通年	南中 （校庭）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
男子バスケットボール （篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	月4回	3時間以内	1年：5人 2年：7人	通年	篠津中 （体育館）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
男子バスケットボール （菁莪中）	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	月4回	3時間以内	1年：2人 2年：7人	通年	菁莪中 （体育館）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
男子バスケットボール （南中）	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	月4回	3時間以内	1年：3人 2年：0人	通年	南中 （体育館）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
男子バスケットボール （白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	月4回	3時間以内	1年：4人 2年：14人	通年	白岡中 （体育館）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
男子ソフトテニス （篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	月4回	3時間以内	1年：10人 2年：5人	通年	篠津中 （テニスコート）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
男女ソフトテニス （菁莪中）	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	月4回	3時間以内	1年：2人 2年：6人	通年	菁莪中 （テニスコート）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
男子ソフトテニス （南中）	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	月4回	3時間以内	1年：5人 2年：6人	通年	南中 （テニスコート）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
男子ソフトテニス （白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	月4回	3時間以内	1年：4人 2年：5人	通年	南中 （テニスコート）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
男子卓球 （南中）	総合型地域スポーツクラブ	卓球	月4回	3時間以内	1年： 4人 2年： 14人	通年	白岡中 （体育館）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連： 部活動 その他： 地域クラブ
男子卓球 （白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	卓球	月4回	3時間以内	1年： 10人 2年： 5人	通年	篠津中 （テニスコート）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連： 部活動 その他： 地域クラブ
剣道 （篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	剣道	月4回	3時間以内	1年： 9人 2年： 13人	通年	菁莪中 （テニスコート）	2人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連： 部活動 その他： 地域クラブ
剣道 （南中）	総合型地域スポーツクラブ	剣道	月4回	3時間以内	1年： 1人 2年： 2人	通年	南中 （テニスコート）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連： 部活動 その他： 地域クラブ
剣道 （白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	剣道	月4回	3時間以内	1年： 10人 2年： 8人	通年	南中 （テニスコート）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連： 部活動 その他： 地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
女子バレーボール （篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	バレーボール	月4回	3時間以内	1年：10人 2年：5人	通年	篠津中 （体育館）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子バレーボール （南中）	総合型地域スポーツクラブ	バレーボール	月4回	3時間以内	1年：16人 2年：5人	通年	南中 （体育館）	2人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子バレーボール （白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	バレーボール	月4回	3時間以内	1年：11人 2年：5人	通年	白岡中 （体育館）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子バスケットボール （篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	月4回	3時間以内	1年：0人 2年：4人	通年	篠津中 （体育館）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子バスケットボール （菁莪中）	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	月4回	3時間以内	1年：6人 2年：4人	通年	菁莪中 （体育館）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
女子バスケットボール （南中）	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	月4回	3時間以内	1年： 6人 2年： 4人	通年	南中 （体育館）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子バスケットボール （白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	月4回	3時間以内	1年： 6人 2年： 10人	通年	白岡中 （体育館）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子ソフトテニス （篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	月4回	3時間以内	1年： 9人 2年： 9人	通年	篠津中 （テニスコート）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子ソフトテニス （南中）	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	月4回	3時間以内	1年： 7人 2年： 11人	通年	南中 （テニスコート）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子ソフトテニス （白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	月4回	3時間以内	1年： 5人 2年： 5人	通年	白岡中 （テニスコート）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
女子卓球 （菁莪中）	総合型地域スポーツクラブ	卓球	月4回	3時間以内	1年： 2人 2年： 3人	通年	菁莪中 （体育館）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子卓球 （白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	卓球	月4回	3時間以内	1年： 12人 2年： 5人	通年	白岡中 （体育館）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子ソフトボール （篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	バドミントン	月4回	3時間以内	1年： 2人 2年： 10人	通年	篠津中 （体育館）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
陸上 （南中）	総合型地域スポーツクラブ	陸上	月4回	3時間以内	1年： 12人 2年： 5人	通年	南中 （校庭）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子ソフトボール （南中）	総合型地域スポーツクラブ	ソフトボール	月4回	3時間以内	1年： 4人 2年： 3人	通年	南中 （校庭）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
合同ダンス	総合型地域スポーツクラブ	ダンス	月4回	3時間以内	1年： 8人 2年： 1人	通年	こもれびの森	1人	5人 (内、兼務5人)	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

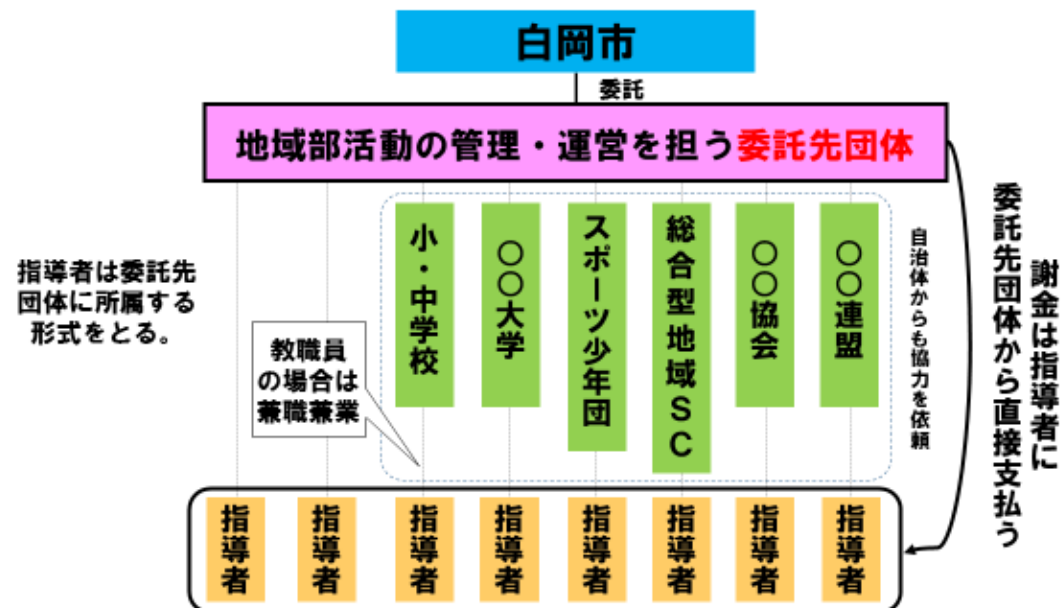
2.実証内容と成果

主な取組例

●白岡市地域クラブ活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球、サッカー、バスケットボール、卓球、ソフトテニス、剣道、バレーボール、バドミントン、ソフトテニス、陸上、ダンス
運営団体名	白岡Sport-Verein
期間と日数	全ての種目 通年 月4回（1日3時間以内）
指導者の主な属性	委託先団体所属の指導者
活動場所	各中学校体育施設（校庭・体育館）、市施設（生涯学習センター等）
主な移動手段	徒歩、保護者の送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	全ての種目 月2,500円
1人あたりの保険料	Sgrum付帯保険 生徒1人あたり：50円/月 指導者1人あたり：50円/月

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者1名、運営補助者4名

役割：指導者との連絡調整

巡回指導による地域クラブ活動サポート

生徒の出席状況の把握

保護者への連絡や緊急時の対応

Sgrumアプリの管理・運用

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備①

取組事項

- ・ 地域クラブ活動の運営・管理は、引き続き「委託」する。
- ・ 市内中学校にコーディネーターを配置し、委託先、教育委員会、中学校との連絡調整等を行う。
- ・ 指導者・生徒との連絡手段として、引き続きスマートフォンのコミュニケーションアプリ「Sgrum」を活用し、活動予定日の連絡、出欠席の確認を行い、「より効果的な活用方法」を実証し、スムーズな運営・管理を行っていく。
- ・ 市内中学校における持続可能な部活動実現とともに、部活動にける教職員の負担軽減を図ることを目的とする地域クラブ活動の円滑な運営及び実施に当たり、必要事項を検討するため、「地域クラブ活動運営協議会」を立ち上げる。
- ・ 各スポーツ団体との連携、受益者負担の在り方等についての課題を検討していく。

取組の成果

- ・ 今年度も引き続き、「運営団体への委託」で地域クラブ活動を進めていった。これまでは、毎年プロポーザルを行い、委託先団体の選定を行ってきたが、その結果毎年委託先団体が変わり、様々な課題が見えても解決しないまま次の委託先に変わるということを繰り返してきた。今年度は、引き続き同じ団体に委託することで、安定して課題に取り組むことができた。
- ・ 今年度も、コーディネーターを2名配置し、委託先、教育委員会、中学校との連携調整等を行った。コーディネーター2名を「地域クラブ活動運営協議会」の委員とすることで、コーディネーターとしての立場が様々な意見をもらうことが出来た。委託先、教育委員会、中学校との連絡調整がうまくいったことで、今年度の大きな目標であった市内4校全ての中学校で「休日活動している部活動全ての地域移行」が達成された。
- ・ スマートフォンのコミュニケーションアプリ「Sgrum」を活用することで、委託先団体は生徒・指導者・部活動顧問との連絡調整がスムーズに行うことができ、Sgrumアプリの管理・運用の他、定期的なスタッフによる巡回サポートも行うことで、指導者からの意見の吸い上げや、活動の様子の把握、緊急時の対応などもスムーズに行うことができた。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備②

取組の成果

- ・ 受益者負担額について協議を重ね、受益者負担の金額を、月額2,500円とした。
- ・ 指導者謝金について、スポーツ庁が示している部活動指導員の謝金を参考にし、原則1時間あたり1,600円とすることとした。
- ・ 活動回数を月3回から月4回へ変更した。
- ・ 指導者の旅費を、これまでの1日一律千円から、距離別での支給に変更した。

今後の課題と対応方針

- ・ 軌道に乗るまでは、1つの運営団体への委託を続けていくが、将来的には全てを1団体に委託するのではなく、各種目で得意としているスポーツ団体等に分散して委託することが望ましいと考えている。活動できなくなるリスクを分散させる観点からも、今後「持続可能な地域クラブ活動」にするために、どのような形で行っていくことが望ましいかについて、様々な視点から検討を重ね、実施していきたい。

【地域クラブ活動運営協議会 委員一覧（16名）】

1	1号委員（地域クラブ活動コーディネーター）	9	4号委員（PTA連絡協議会・西小学校PTA顧問）
2	1号委員（地域クラブ活動コーディネーター）	10	4号委員（PTA連絡協議会副会長・菁莪中学校PTA会長）
3	2号委員（菁莪小学校長）	11	5号委員（白岡市スポーツ協会理事長）
4	2号委員（南小学校長）	12	5号委員（スポーツ少年団本部長）
5	3号委員（篠津中学校長）	13	5号委員（白岡市学校開放運営委員会会計）
6	3号委員（菁莪中学校長）	14	5号委員（白岡市学校開放運営委員会委員）
7	3号委員（南中学校長）	15	5号委員（白岡市スポーツ推進委員連絡協議会副会長）
8	3号委員（白岡中学校長）	16	6号委員（白岡吹奏楽団団長）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

- 令和6年11月から、市内すべての部活動で「休日の活動」が無くなり、スポーツクラブ活動に移行することから、指導者不足が想定される。そこで、年度当初より、中学校の教員だけでなく、小学校の教員においても、指導者を募り、希望者は人材バンクに登録する。また、市の「広報」で周知し、指導者を確保していく。
- 指導者に対しては研修を行い、資質向上に努める。

取組の成果

- 年度初めの市内校長会の中で、今年度の地域クラブ活動計画とともに、指導者募集について説明した。また、小学校教員の中で興味がある者がいた場合、直接説明に行くことを周知した。
- 令和7年1月発行の白岡市の広報で「地域クラブ活動指導者募集」の記事を載せ、地域に広く募集することができた。
- 「地域クラブ活動運営協議会」の中で、市内のスポーツ少年団の代表、スポーツ協会の代表に、地域クラブ活動の現状や課題を定期的に情報を提供できたことで、より協力を得ながらスムーズに進められるようになった。指導者募集についても、周知し、11月からの指導者として数人確保することが出来た。
- 指導者の研修を1回開催し、熱中症の対応や、AEDの配置場所の確認、その他地域裏部活動の現状について共通理解することができた。

今後の課題と対応方針

- 令和6年11月から「市内全ての中学校での休日の部活動地域移行」を実施できたが、指導者の約半数が兼職兼業の教員となっている。
- 近隣市町が休日の部活動を継続しているの状況から、市外異動となった場合、兼職兼業の指導者は地域クラブ活動の指導者を継続できないおそれがある。また、人事の情報が公開されてから動く必要がある、すぐに指導者確保が困難な状況になる。
- 今後、「持続可能な地域クラブ活動」にするためにも、教員の指導者ではなく、地域の外部指導者を増やしていく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

人材バンク名	種目	資格有無
ペアーズバンク	・硬式野球	【指導者資格 一例】
	・サッカー	・JSPO コーチ 1
人材バンクの人数	・バスケットボール	・JSPO スタートコーチ
57名	・ソフトテニス	・日本バスケットボール協会 A級コーチライセンス
	・卓球	・日本バスケットボール協会 E級コーチライセンス
人材バンクの年齢構成	・陸上競技	・日本ソフトテニス連盟 公認技術等級3級
年齢の登録なし	・バレーボール	・全日本剣道連盟有段者
	・剣道	・経済産業省 初級アドミニストレータ
	・バドミントン	
	・ソフトボール	
	・吹奏楽	
	・ダンス	
	・プログラミング 等	

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

- 1 日時 令和6年12月1日(土) 15時～17時の予定
- 2 会場 白岡市 生涯学習センター1階 音楽・軽スポーツ室+集会室2
- 3 対象者 令和6年度白岡市地域クラブ指導者(市内4校と合同部活動指導者)
- 4 日程 14:45 受付
15:00 開会 あいさつ 白岡市教育委員会
15:10 J S P O 製作ビデオ視聴(全国5団体の活動)
15:20 研修会 講師 内海 隆博氏
スポーツ庁 地域スポーツ課 専門官
白岡Sport-Verein 理事
テーマ「国内における地域移行の現状と今後」
16:00 白岡市の地域クラブについて
・受益者負担導入や今後の対応について 白岡市教育委員会
・地域クラブ運営について 白岡Sport-Verein
・質疑応答
・その他
17:00 終了

指導者研修会での指導の声(活動に関する質問)

- ・長期の休み(夏休み、冬休み等)があり、月曜日から金曜日までは平日となっている。長期休業日であっても、平日の場合は部活動を行うのか。また、地域クラブ活動の指導者が長期休業中の平日に練習試合等の引率をしてもよいのか。
- ・練習試合の会場となった場合、部活動では部室を開けるだけではなく、体育館を開けたり、ベンチやテーブルの用意をしたりする必要がある。部活動の練習試合で外が非常に暑い場合は、子供たちの体調を考えて保健室を開けたり、クーラーを入れたりしている。ホームでやらない場合でも、会場の場所によっては保護者の送迎を依頼する場がある。そういった依頼は誰がするのか。

今後の課題と対応方針

「指導者研修会」では、スポーツ庁の内海 隆博氏を講師に招き、国が進める地域クラブ活動の現状と課題について指導者の共通理解を図った。また、今後の白岡市が進める地域クラブ活動について説明を行った。「夏場の熱中症対策」について、指導者間で協議を行い、最後に暑さによって活動を中止とする基準を指導者全員で確認した。質疑応答では、「地域クラブ活動」として練習試合や大会へ参加することについて、指導者から多くの質問が出た。他の自治体は、まだ部活動単位で動いており、今後地域クラブ活動で試合を組む時、他の中学校の部活動顧問とどのように連絡を取って試合を組めばいいのかなど、指導者から多くの課題が示された。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

- ・ 受益者負担を、すべての学校で休日の部活動が地域移行となる予定の令和6年11月から受益者負担を導入する。
- ・ 受益者負担の金額について、一律とするべきなのか、種目ごとに変わるべきなのか、どの部分を保護者負担にして、どの部分を市で負担すべきなのか等も含め、よく検討した上で実施していく。
- ・ 地域クラブ活動の協議会で、各スポーツ団体、学校、PTAと意見を交換したうえで、受益者負担の在り方について決定する。

取組の成果

- ・ 「白岡市地域クラブ活動運営協議会」の中で、受益者負担の在り方について検討し、各スポーツ団体、学校、PTA等からの意見を参考にしながら受益者負担額（月額2,500円）を決定し、令和7年1月から導入を開始することができた。将来的には委託費に係る費用全てを保護者負担で賄うことが望ましいが、保護者が負担する部分を指導者の謝金、指導者の交通費、アプリ使用料、生徒の保険料とし、その他の委託に係る経費については公費で負担することとした。
- ・ これまで指導者謝金は、1時間当たり2,000円（吹奏楽を除く）、吹奏楽については1時間当たり3,500円としていた。また、指導者の交通費については、1日あたり一律1,000円としていた。しかし、運営協議会の中で受益者負担額を考える中、できる限り保護者の金銭的負担を減らすことが望ましいとの意見から指導者の謝金をスポーツ庁が示す地域クラブ活動指導員謝金の金額に合わせ、基本的には1時間当たり1,600円とした。また、指導者資格保有者や吹奏楽の指導者については1時間当たり2,000円とし、交通費については一律ではなく距離別とした。
- ・ 受益者負担は、コミュニケーションアプリ「Sgrum」の決済機能を使い、委託先団体が集金することとした。保護者は、クレジット決済かコンビニ決済を選ぶことができ、令和7年1月からの受益者負担をスムーズに開始することができた。

今後の課題と対応方針

- ・ 受益者負担の導入については、すべての保護者の理解を得るのが非常に難しく、今後も、引き続き保護者説明会等で周知していきたい。
- ・ 「持続可能な地域クラブ活動」にするためには、今後保護者の受益者負担のみで活動できることが望ましいと考える。しかし、実際には、活動費について大きな負担に思っている方が多く、大きな課題として認識している。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

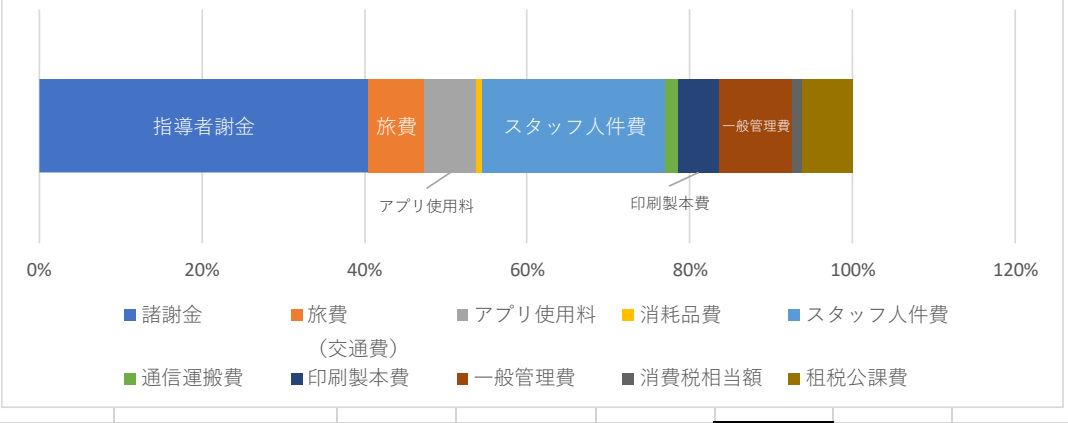
●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

地域クラブに係る経費

令和6年度4月分実績【バランスシート】				資料（1）	
指導者謝金	404,137	諸謝金	40%	※現在 約6割が指導者に係る費用 約4割が運営に係る費用	
旅費 (交通費)	69,000	旅費 (交通費)	7%		
アプリ使用料	64,020	アプリ使用料	6%		
消耗品費	7,518	消耗品費	1%		
スタッフ人件費	225,148	スタッフ人件費	23%		
通信運搬費	14,084	通信運搬費	1%		
印刷製本費	51,150	印刷製本費	5%		
一般管理費	89,803	一般管理費	9%		
消費税相当額	11,598	消費税相当額	1%		
租税公課費	62,166	租税公課費	6%		
合計	998,624 円	合計	100%	となっている。	

収支バランス

委託費内訳表



※ 第3回「白岡市地域クラブ活動運営協議会」資料から

	※全てを受益者負担にした場合	→	4,231 円	
				※236名で算出
①	謝金のみ	→	1,712 円	
②	謝金 + 旅費	→	2,005 円	
③	謝金 + 旅費 + アプリ使用料	→	2,276 円	
④	謝金 + 旅費 + アプリ使用料 + 消耗品費	→	2,307 円	
⑤	謝金 + 旅費 + アプリ使用料 + 消耗品費 + 人件費	→	3,262 円	
	受益者負担内訳	受益者負担	公費	
①	謝金のみ	40%	60%	100%
②	謝金 + 旅費	47%	53%	100%
③	謝金 + 旅費 + アプリ使用料	53%	47%	100%
④	謝金 + 旅費 + アプリ使用料 + 消耗品費	62%	38%	100%
⑤	謝金 + 旅費 + アプリ使用料 + 消耗品費 + 人件費	77%	23%	100%

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等③

資料

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

受益者負担額 算出基準表（参考）③

【11月から】				【※ 1 回あたり 2 時間の場合】				
参加生徒数								
818×0.6 = 490人				で計算				
※運動部 + 吹奏楽部となる				ので60%で計算				
				※指導者 4 1 人(37人+吹奏楽4人)				
指導者人数×1 回あたりの時間数（2 時間）×月当たりの回数								
1. 謝金2,000円 吹奏楽謝金 3,500円の場合	月 3 回	222	×	2,000	=	444,000	528,000 円	指導者 3 7 名
		24	×	3,500	=	84,000		吹奏楽指導者 4 名
	月 4 回	296	×	2,000	=	592,000	704,000 円	指導者 3 7 名
		32	×	3,500	=	112,000		吹奏楽指導者 4 名
2. 謝金1,600円 吹奏楽謝金 2,800円の場合 (×0.8倍)	月 3 回	222	×	1,600	=	355,200	422,400 円	指導者 3 7 名
		24	×	2,800	=	67,200		吹奏楽指導者 4 名
	月 4 回	296	×	1,600	=	473,600	563,200 円	指導者 3 7 名
		32	×	2,800	=	89,600		吹奏楽指導者 4 名
3、実績別の場合	月3回	210	×	1,600	=	336,000	412,800 円	通常指導者 3 5 名
		12	×	2,000	=	24,000		元プロ指導者 2 名
		12	×	2,800	=	33,600		吹奏楽団 2 名
		12	×	1,600	=	19,200		吹奏楽通常指導者 2 名
	月4回	280	×	1,600	=	448,000	550,400 円	通常指導者 3 5 名
		16	×	2,000	=	32,000		元プロ指導者 2 名
		16	×	2,800	=	44,800		吹奏楽団 2 名
		16	×	1,600	=	25,600		吹奏楽通常指導者 2 名
指導者人数×月当たりの回数								
①旅費（交通費） 一律1,000円の場合	月 3 回	123	×	1,000	=	123,000	123,000 円	指導者 4 1 名
	月 4 回	164	×	1,000	=	164,000	164,000 円	指導者 4 1 名
②旅費（交通費） 距離別の場合	月 3 回	123	×	300	=	36,900	36,900 円	指導者 4 1 名
	月 4 回	164	×	300	=	49,200	49,200 円	指導者 4 1 名
参加生徒数								
Sgrum使用料【生徒】 (使用料+保険+手数料)	月	490	×	300	=	147,000	147,000 円	

※「地域クラブ活動運営協議会」で
算出基準表を示し、協議を重ねた。
受益者負担の金額を月額2,500円
とした。

※ 第4回「白岡市地域クラブ活動運営協議会」資料から

参加割合	回数	受益者負担内訳	1+①	2+①	3+①	1+②	2+②	3+②
全員が参加 (490人)	月3回	謝金+旅費+Sgrum使用料	2,167	1,844	1,815	1,992	1,668	1,639
	月4回	謝金+旅費+Sgrum使用料	2,790	2,359	2,320	2,556	2,124	2,085
9割が参加 (441人)	月3回	謝金+旅費+Sgrum使用料	2,408	2,049	2,016	2,213	1,854	1,821
	月4回	謝金+旅費+Sgrum使用料	3,100	2,621	2,484	2,812	2,361	2,317
8割が参加 (392人)	月3回	謝金+旅費+Sgrum使用料	2,709	2,305	2,268	2,490	2,085	2,049
	月4回	謝金+旅費+Sgrum使用料	3,487	2,948	2,899	3,194	2,656	2,607
7割が参加 (343人)	月3回	謝金+旅費+Sgrum使用料	3,096	2,634	2,592	2,845	2,383	2,341
	月4回	謝金+旅費+Sgrum使用料	3,985	3,370	3,314	3,651	3,035	2,979
6割が参加 (294人)	月3回	謝金+旅費+Sgrum使用料	3,612	3,073	3,024	3,319	2,781	2,732
	月4回	謝金+旅費+Sgrum使用料	4,650	3,931	3,866	4,259	3,541	3,476

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等④

資料

- ・ 10月5日に開催した「地域クラブ活動保護者説明会」では、受益者負担への導入について説明した。
- ・ 地域クラブ活動運営協議会の中で、保護者が負担する部分を「指導者謝金＋指導者旅費＋アプリ使用料＋生徒の保険料」とすることとした。
- ・ その他の運営費については、当分の間、公費で負担することとした。

※ 保護者説明会資料から

受益者負担について Q&A③



地域クラブ活動を運営していくために必要な経費のうち、どの部分を保護者が負担するのですか？



指導者に係る費用

- ・謝金
- ・交通費

運営に係る費用

- ・アプリ(Sgrum) 使用料
- ・保険料

※保護者の方には、生徒の活動に直接関係する部分の負担をお願いします！！

- ・消耗品
- ・運営スタッフ人件費
- ・印刷製本費
- ・通信費
- ・その他諸経費

→ 公費で負担

2.実証内容と成果③

アンケート調査



アンケート結果・広報資料

●アンケート結果

※「新たな合同部活動」に関する実態調査を行い、現在の児童・生徒の「やってみたい」の希望や要望を調査した。

今後活動を広げる参考として、児童・生徒の声を生かしていく。

地域クラブ活動実態調査アンケート結果

Q, 「学校の部活動にはない活動」で、こんな活動があったらやってみたいと思う活動を1つ選んでください。

小学6年生対象（回答400名）				中学1・2年生対象（回答706名）			
順位	種目名	人数	割合	順位	種目名	人数	割合
1	eスポーツ	97	24.3%	1	eスポーツ	185	26.2%
2	トランポリン	52	13.0%	2	トランポリン	88	12.5%
3	ダンス	42	10.5%	3	スポーツ鬼ごっこ	77	10.9%
4	スポーツ鬼ごっこ	41	10.3%	4	硬式テニス	38	5.4%
5	体操	22	5.5%	5	書写	33	4.7%
6	英語・英会話	20	5.0%	6	合唱	33	4.7%
7	硬式テニス	19	4.8%	7	英語・英会話	26	3.7%
8	合唱	16	4.0%	8	体操	23	3.3%
9	書写	14	3.5%	9	柔道	17	2.4%
10	プログラミング	12	3.0%	10	環境クラブ	11	1.6%
11	柔道	8	2.0%	11	ラグビー	7	1.0%
12	環境クラブ	5	1.3%				
13	ラグビー	3	0.8%				
	ここにはない	49	12.3%		ここにはない	168	23.8%
		400	100.0%			706	100.0%

Q, 上の項目にはないもので、こんな活動があったらやってみたいと思うものを自由に記入してください。

児童から出た意見	パルクール	硬式野球	生徒から出た意見	陸上	硬式野球
	そろばん	弓道		モルック	弓道
	軽音楽	ドッジボール		軽音楽	ドッジボール
	お笑い	演劇		調理	演劇
	ハンドボール	トリアスロン		女子サッカー	ボードゲーム
	アーチェリー	ゲーム		男子バレーボール	箏曲・茶道
	インドアカ	動画クリエイター		チアダンス	ロボット作成
	鉄道研究	水泳		鉄道研究	キックベース
	空手	セパタクロ		スケボー	古文研究
	一輪車	ポケモンカード		競技かるた	
	生き物研究	クイズ		生き物研究	

Q, 中学校になったらぜひやってみたい部活動を一つ選んでください。
(通う中学校になくても選択可)

小学6年生対象（回答400名）

順位	種目名	人数	割合	順位	種目名	人数	割合
1	バスケットボール	49	12%	9	ソフトテニス	27	7%
2	バドミントン	42	11%	10	陸上	25	6%
3	サッカー	37	9%	11	卓球	22	6%
4	軟式野球	35	9%	12	剣道	16	4%
5	吹奏楽	33	8%	13	茶華道	10	3%
6	バレーボール	32	8%	14	創作	6	2%
7	美術	30	8%	15	文芸	4	1%
6	技術・パソコン	29	7%	16	茶華道	3	1%

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【菁莪中 男子バスケットボール】



【南中 女子バレーボール】



【合同 ダンス】



【白岡中 剣道】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス①

Hop

令和3年度
(2021年度)

地域部活動企画委員会発足

実証導入

市内4中学校
運動部5 文化部2
+α

モデル事業として試験的に導入実施する。現在の部活動に大きな影響がない範囲で実施する。

Step

令和4年度
(2022年度)

実証実施(9月～)

市内2中学校
希望する部活動で移行
(合同部活動も開始)

※9部活+合同4部活

令和3年度より規模を拡大し、実施する。

※受益者負担なし

Jump

令和5年度～
(2023年度)

継続実施(12月～)

市内4中学校
・2校→休日実施全ての部活動
・2校→希望する部活動で移行
※22部活+合同2部活

※2校が先行して休日の部活動を地域クラブ部活動として実施する。

※1年遅れで2校が追いかける形で進めていく。

中学校部活動：中学校の教職員が指導者（顧問）となる現行の部活動

地域クラブ部活動：地域人材が指導者（コーチ）となるクラブ活動

※これまでの外部指導者とは違い、中学校の教職員が立ち会わなくても単独で指導が可能となる。地域人材として、地域のクラブ指導者や保護者、退職教職員の他、現役の小・中学校の教職員が兼職兼業として指導にあたることも考えられる。

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス②

～令和 6 年10月まで

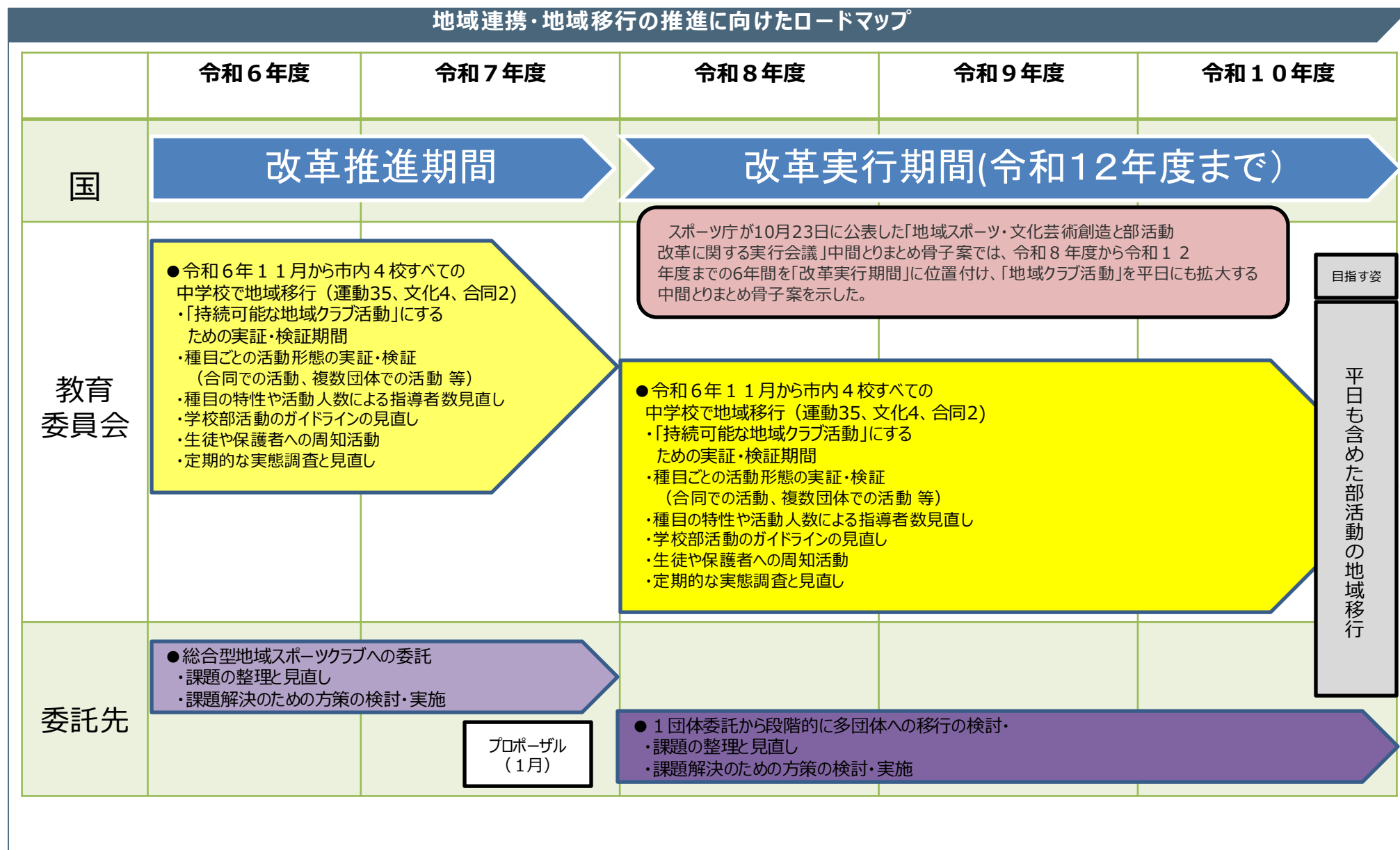
- ・ 菁莪中学校 と 南中学校 は休日行う全ての活動を地域移行【済】
- ・ 篠津中学校 と 白岡中学校 は先行実施できる部活動のみ地域移行
(その他は、まだ部活動として活動)
- ・ 合同部活動として、合同ダンス、合同プログラミング の実施
- ・ 保護者の受益者負担 なし

【現在】 令和 6 年11月 ～

- ・ 篠津中学校 と 白岡中学校 も休日行う全ての活動を地域移行
(白岡市内全ての中学校の休日の活動は「地域クラブ活動」)
- ・ 保護者の受益者負担の導入
(令和 7 年 1 月から、事業費の一部を保護者に負担してもらう)



3.今後の方向性



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

埼玉県 伊奈町

自治体名：埼玉県伊奈町

担当課名：生涯学習課

電話番号：048-721-2111

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	14.79 km ²
人口	45,009 人 (令和 7 年 2 月 1 日 現在)
公立中学校数	3 校
公立中学校生徒数	1,326 人 (令和 6 年 5 月 1 日 現在)
部活動数	41 部活
市区町村の協議 会・検討会議等の 設置状況	設置済
市区町村の推進計 画・ガイドライン等の 策定状況	ガイドラインは策定 済み

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在当町の運動部活動は29部活あるが、令和 5 年度からサッカー部が合同部活動として活動するなど、少子化のため、チームが編成できない状況になっている。今後も生徒数は減少していくことが想定されているため、部活動を維持していくことは難しいと考えている。

令和 5 年度に「伊奈町立中学校の部活動地域連携・地域移行検討委員会」を設立し、実証事業の実施についても検討を行った。

伊奈町で行う地域スポーツクラブ活動に、どの

ような要素が必要となるかを明らかにし、地域スポーツクラブ活動への移行の形を作るために令和 6 年度に実証事業を実施した。3 中学校から生徒を募集して 1 か所に集まって練習を行う形としたが、問題なく活動できたことは一つの好事例となった。

町の面積が広くないことから、今後も町内中学生を 1 か所に集めて活動を行うという形で実施していきたい。

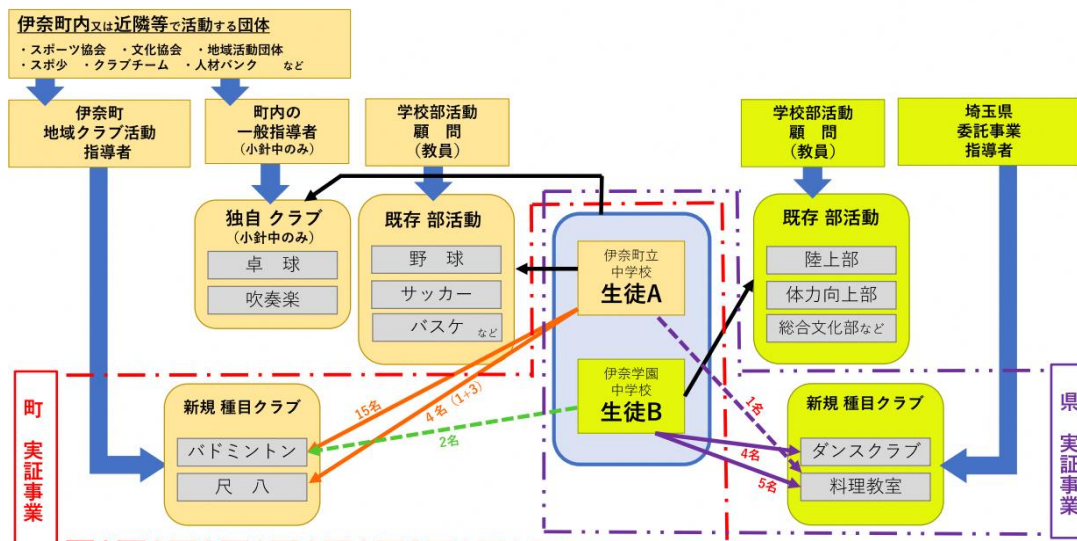
町立中学校生徒数見込み（令和 6～10年度）						
生徒数	R 5	R 6見込	R 7見込	R 8見込	R 9見込	R 10見込
伊奈中	通常	通常	通常	通常	通常	通常
合計	318	295	282	273	272	270
生徒数	R 5	R 6見込	R 7見込	R 8見込	R 9見込	R 10見込
小針中	通常	通常	通常	通常	通常	通常
合計	842	856	786	757	710	677
生徒数	R 5	R 6見込	R 7見込	R 8見込	R 9見込	R 10見込
南中	通常	通常	通常	通常	通常	通常
合計	251	254	252	271	283	264

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）

R6 伊奈町地域クラブ活動 実施体系図



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・生涯学習課…中学生の地域クラブ活動の環境整備
- ・学校教育課…部活動改革の主幹、学校との調整・連携、学校に関する事項について

年間の事業スケジュール

令和6年5月	校長会にて実証事業説明
令和6年6月	第1回検討委員会開催
令和6年7月	実証事業募集開始 実証事業説明会開催
令和6年8月	町教委職員全体研修会にて、 情報提供
令和6年9月	第2回検討委員会開催
令和6年10月	実証事業開始
令和6年12月	第3回検討委員会（視察） 開催
令和7年1月	実証事業終了
令和7年2月	第4回検討委員会開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	3 校	実施した地域クラブ総数	2 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0 クラブ（0 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		2 クラブ
全体の指導者数	5 人	全体の運営スタッフ数	6 人（生涯学習課 4 人、学校教育課 2 人、全員他業務と兼務）

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
バドミントンクラブ	教育委員会直営	バドミントン（新）	週 1 回	12:45 ～ 15:30	1 年生 5 人 2 年生 9 人 3 年生 3 人	令和6年 10月から 令和7年 1月	伊奈町立 南中学校 体育館	4 人	6 人 （内、兼務 6 人）	月会費 1,000円	不参加
尺八クラブ	教育委員会直営	尺八（新）	月 2 回	14:00 ～ 16:00	2 年生 3 人 3 年生 1 人	令和6年 10月から 令和7年 1月	伊奈町立 伊奈中 学校体育館	1 人	6 人 （内、兼務 6 人）	なし	不参加

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等



取組内容

- 取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保 / ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項（ア）

- ・教育委員会主体となり、3 中学校の生徒を対象として、バドミントンに参加したい生徒を募集し、一つの中学校を中心に実施した。
- ・参加者管理、参加者・指導者への連絡にICTを活用した。

取組の成果（ア）

- ・町立 3 中学校に加え、町内所在の県立中学校からも参加者あり、町内学校を会場として活動を行うことができた。参加した中学生 17 人を対象としたアンケート（回答者 8 人）の結果、回答者の 87.5% が問題ないと回答した（未回答が 1 人）したことから、移動等による問題はないと言える。

今後の課題と対応方針（ア）

- ・既存部活動にはない種目での実証事業であったが、生徒の選択肢を増やす上で有効である。
- ・今後も 3 中学校の生徒が 1 か所で練習を行っていきたい。

取組事項（イ、ウ）

- ・町内に所在するバドミントンのクラブチームの指導者に担っていただいた。
- ・資格有無については求めなかった。

取組の成果（イ、ウ）

- ・日頃から指導していることから、指導者が体系的な練習メニューを考えていただけたことで、生徒の技術が上達していることが見て取れた。
- ・参加した生徒も同じクラブチームに所属していることから、指導者との意思疎通も取れていた。
- ・指導者による出欠や練習内容の記録についてもアプリを使用して行えるようになっていった。
- ・指導者の確保において、団体の代表者に依頼することでもうまくできた。
- ・集金についても団体のやり方を実証事業にも応用して行っていただけた。

今後の課題と対応方針（イ、ウ）

- ・指導者を確保するために町にある既存団体との協力が不可欠であるので、町内及び近隣の団体への周知及び話し合いの機会を持って行く必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組 / オ：内容の充実 / カ：参加費用負担の支援等 / キ：学校施設の活用等

取組事項（エ）

・町内全3校に事前の周知、参加者応募を行う。

取組の成果（エ）

・一つの学校に集まって活動を行うにあたり、参加者本人による自転車やバスでの移動や保護者の送迎等があったが、問題はなかった。
・事前の周知や応募時の説明が不足してしまったためか、参加生徒を多く集めることができなかった。

今後の課題と対応方針（エ）

・引き続き町内1カ所での活動としていく。
・チラシの配布だけでなく、生徒の前でPRできるようにしていく。

取組事項（オ）

・現在、町内において学校部活動として実施していないバドミントンを実証事業として実施した。

取組の成果（オ）

・バドミントンをやりたい生徒が応募してくれた。生徒のニーズに応えることができた。
・クラブチームで活動している生徒と初心者に参加したが、指導者が練習メニューを考え、指導ができていた。

今後の課題と対応方針（オ）

・生徒のニーズがある種目を把握する必要がある。

取組事項（カ）

・受益者負担として、月額1,000円の参加費を負担していただいた。
・地域クラブに係る経費を町単費で賄うことは難しく、新たな施設整備もできないため既存施設利用。
・参加費用だけでは収支バランスが取れないので、他の歳入を考える必要がある。

取組の成果（カ）

・月額1,000円の参加費については、負担と感じた家庭はわずかであった。

今後の課題と対応方針（カ）

・持続的な運営に必要な受益者負担額については引き続き試算していく必要があるが、参加費は集めていく予定である。
・適正な金額や生活困窮家庭への支援などについて検討していく。

取組事項（キ）

・中学校体育館で実施した。

取組の成果（キ）

・施設や備品の利用については問題はなかった。
・体育館を使う学校部活動からは使用時間について不満が挙がったようであった。

今後の課題と対応方針（キ）

・学校とよく調整を行った上で、今後も学校体育館を使用していきたい。
・他の町有施設や、民間施設を使うことも検討が必要となる。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- ・町立3中学校に加え、町内所在の県立中学校からも参加者あり、町内学校を会場として活動を行うことができた。移動等による問題はなかった
- ・教育委員会が事務局となり、参加生徒の募集から行ったが、指導者や参加者、会場となった学校との連絡を密にできなかった。また、周知が足りなかったせい、参加者数も想定よりも少なくなってしまった。
- ・指導者が体系的な練習メニューを考えていただけたことで、生徒の技術が上達していることが見て取れた。

●成果の評価

- ・既存部活動にはない種目での実証事業であったが、生徒の選択肢を増やす上で有効である。
- ・参加した中学生及び保護者からは「他校との関わりを増やせたり、自分の技術を上げられてよかった」、「専門の指導者に教えてもらえるのは、とても有意義」という声があった。

●今後に向けて

- ・今後も3中学校の生徒が1か所で練習を行っていきたい。
- ・学校への周知方法として、部活動オリエンテーションでのPR等、わかりやすい形で見ていきたい。
- ・指導者を確保するために町にある既存団体との協力が不可欠であるので、町内及び近隣の団体への周知及び話し合いの機会を持って行く必要がある。

2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

**休日の地域クラブ活動への移行を目指して
実証事業を実施します**

少子化が進む中、将来にわたり中学生がスポーツに継続して親しむ機会を確保するため、部活動の地域クラブ活動への移行について、課題等を明らかにすることを目的として、今年度より実証事業を行います。

今年度は、バドミントンと尺八の2種目を行います。ぜひ、ご参加ください。

県の方針として、令和5年度から7年度までを「活動環境整備期間」（休日の地域クラブ活動の実証事業を行い、活動環境の整備を進める期間）、令和8年度から10年度までを目安として「活動環境定着期間」（地域の実態に応じて、休日の地域クラブ活動を段階的に拡大し、定着を図る期間）としています。

バドミントン

実施日：毎週土曜日の午後
場 所：可立南中学校 体育館 ※実施場所が変更になることもあります
参加費：月1,000円(シャトル代等)
定 員：40名 ※応募者が定員を超えた場合は抽選となります

尺 八

実施日：土曜日または日曜日(月1,2回)
場 所：可立伊奈中学校 体育館 ※実施場所が変更になることもあります
参加費：無料
定 員：10名 ※応募者が定員を超えた場合は抽選となります

募集種目：バドミントン、尺八
期 間：令和6年10月19日(土)から令和7年1月26日(日)まで
対 象：可立中学校在学の中学1年生から3年生
(他の部活に入部していても参加することができます)
指 導 者：地域の方
保 険：スポーツ安全保険に加入します(公費)
応募方法：右の二次元コードよりご応募ください
応募期間：8月18日(日)まで
いずれも現地集合、現地解散となります(徒歩や自転車、バス、保護者による送迎等)

※説明会を開催します…7月28日(日)10時から30分程度 伊奈町役場3階第1会議室
参加希望者は、7月24日(水)までに右の二次元コードよりお申込みください
参加希望者が多数となった場合は2回に分けて開催することがあります
2回に分けて開催する場合はこちらからご連絡いたします

お問合せ先：伊奈町教育委員会生涯学習課 048(721)2111 内線 2545

〈実証事業参加
申込みフォーム〉

〈説明会参加
申込みフォーム〉

【生徒への参加啓発チラシ】

出典:伊奈町教育委員会

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【バドミントン ウォーミングアップの様子】



【バドミントン 指導者からの指導を聞く様子】



【バドミントン 練習の様子①】



【バドミントン 練習の様子②】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

教育委員会内での検討開始

令和5年

協議会設置、実施
種目決定、
指導者の選定

令和6年

生徒、保護者への説明会の実施、実証事業募集

実証事業実施

令和4年度

●経過

教育委員会内で協議し、伊奈町において部活動地域移行を開始すると決めた

●実施にあたって生じた課題

将来的に生涯学習分野になることから生涯学習課が主担当として進めることになったが、学校現場のことについて不明なことが多いことから、学校教育課と協力して事業を進めることになった

●実施内容、工夫した点 等

両課の担当者が良く話し合いを行い、情報収集、情報交換等を行った。学校関係については学校教育課が連絡調整を進めた

令和5年度

●経過

町広報紙を使つての周知を図るとともに、先進地視察等の情報収集、学校現場の様子を聞くために検討委員会準備会として中学校校長と情報交換を行なった上で、検討委員会を実施した

●実施にあたって生じた課題

部活動地域移行をどのようにすればわからない状態でのスタートであり、情報が圧倒的に少なかった

●実施内容、工夫した点 等

伊奈町としてどのような形で行えば良いかを考えたが、実証事業を通して良い形を模索することとなった

令和6年度

●経過

実証事業を行うにあたり、指導者や会場と学校と話し合いを行った上で、校長会での説明や教職員全体研修会での情報提供、生徒・保護者向け実証事業説明会を開催して実証事業を実施した

●実施にあたって生じた課題

地域移行についての周知が足りていないことから、参加者が少なかった
指導者や会場校との連絡が足りなく、きめ細やかなフォローができなかった

●実施内容、工夫した点 等

アプリの導入など連絡の効率化を図った

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和7年

令和7年度

●地域クラブの活動

実証事業を踏まえ、年間の活動を行っていきたい。

●新たな実証事業の実施

地域クラブの数を増やすために実証事業を行いたい。

●課題等

各学校や教員の連携・協力が必要。

令和8年

令和8年度

●地域クラブの活動

前年度の実証事業を踏まえ、年間の活動を行う地域クラブを増やしていきたい。

●新たな実証事業の実施

年間の活動を行うにあたって、課題等が多い種目については、実証事業を行っていく。

●課題等

地域クラブの活動を行える種目の選定。

令和9年以降

●地域クラブの活動

毎年地域クラブの種目数を増やしていきたい。

●課題等

教員が地域クラブへの移行を求めている種目を知ることや生徒のニーズを捉えることが必要。